ARS DEFENS

クマは基本的に臆病ですが、驚いたり、子グマを守ろうとする場合には攻撃的になることがあります。全国では、毎年クマによる人身事故が報告されています。 山にエサが豊富と言われている今年であっても、十分に注意が必要です!



「クマと遭わない」ために!

クマの餌が実るところには行かない



・ドングリやクリ、ヤマブドウが 実る山や林、集落のなかでもカ キの木がある場所は注意する

頻繁に物音や声を出す

・鈴、笛、ラジオなどを鳴らすか、大きめの声で話しながら行動する



・霧などで視界の悪いときは行動を避ける ・見通しの悪い林などには行かない

クマに人の存在を知らせてから外に出る

単独でのウォーキング(散歩)

やジョキングを控える



補助金HP

家の周りにクマがいる場合があるので、家から外に出るときは、鈴や笛、大声などで人の存在を知らせる。

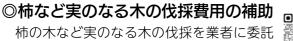
視界の悪いときや、見通しの悪い場所に入らない

・クマは、早朝、夕方ばかりでなく、日中でも出没する

「クマを引き寄せない」ために!

人家のまわりの果樹は早めに収穫・伐採する

- ・カキやクリは早めに収穫する
- ・収穫できない果樹は伐採するか、枝 を落として低くするなど管理する



補助金額▶費用の1/2(上限2万円)

する方に対し、費用の一部を補助します。

刈り払いなどにより集落周辺から

クマの潜み場をなくす

家のまわりにクマの餌になるものを放置しない

クマに遭ってしまったら! 「興奮しない・させない!

とにかく騒がずゆっくり後ずさり!

背中を見せて走って逃げてはいけません! 子グマであっても絶対近づかない。





地面に伏せ、両手やリュックなどで首の 後ろをガードして頭と首を守る。

攻撃が避けられないときは急所を守る!

クマを目撃したら市役所または警察署へ

いただいた情報は市の緊急メールやLINEでお知らせします。情報提供・出没情報の確認をお願いします。



緊急メールの 登録はこちら

LINEの登録は こちら

サルを集落から追い出そう!

サルは通常人間に対して攻撃的ではありませんが、集落でエサを確保した経験がある場合は、集落に現れるようになります。人に慣れたサルは、噛みついたり引っかいたりすることがあり、全国的に事故が報告されています!

群れの行動パターンを予測して被害を予防!!

サルに発信器を付けて行動を調査したところ、市内を行動範囲とする群れは3つあることがわかりました。

①大野市の佐開から平泉寺町を移動する群れ(九頭竜B)

②永平寺町の鳴鹿から北郷町・荒土町・野向町を通って村岡町まで移動する群れ(九頭竜A1・A2) ご協力を

サルが出没したら、赤ちゃんザルがいるか どうか観察をお願いします。赤ちゃんザルが いれば群れと判断し、次の行動パターンを予 測して、被害を予防できる可能性があります。





サルの対策方法

①サルが集落へ近づく原因をなくす

収穫しないままの柿の実や畑に残った野菜くずなどは、サルなど野生動物にとっては「ごちそう」です。 サルのエサになるものを取り除きましょう。

②柵で農地に入らせない

サルは身体能力が高く、電気柵だけ、 ワイヤーメッシュ柵だけでは効果があ りませんが、組み合わせて設置するこ とで有効な対策となります。



③サルを山に追い払う

サルに「集落には食べ物があるし、人も怖くない」と 覚えられないためにも、サルを見かけたら、必ず追い 払うようにしましょう。

集落みんなに呼び掛けて、大勢でロケット花火や電 動ガンなどの道具を使うと効果的です。

各種支援

◎柿など実のなる木の 伐採費用の補助



柿の木など実のなる木の伐採を業者に委託 する方に対し、費用の一部を補助します。 補助金額▶費用の1/2(上限2万円)

◎電気柵の設置補助

サルの侵入を防ぐ電気柵設置に必要な資材 の提供にかかる費用の一部を補助します。(申 請には農家組合として、申請が必要です。) 補助金額▶1/3は農家組合が負担

◎煙火講習会の開催(毎年11月ごろ開催)

サルの追い払いに使う煙火(強力なロケット花火)を使うための講習を開催しています。 受講料▶無料

※許可手帳の作成に別途費用が必要です



